

薔薇咲く庭の 薫風夜話

くんぷう よばなし

日程：2025年5月17日(土曜日)
18時開演(17時30分開場)
会場：揚輝荘(南園)聴松閣 地下多目的ホール
参加費：4000円 ※舞台上で生けたお花と京菓子のおみやげつき♪



四百字 の京がたり

よんひゃくじのきょうがたり

ひいさま ※ 藤間勘萃



NO.013

花の香りと語りと音と
「薔薇咲く庭の薫風夜話」

今月は名古屋のお話を。

千種区の閑静な住宅街に佇む邸宅、揚輝荘。松坂屋初代社長が正から昭和初期にかけて建設した別荘で、五棟の建造物が名古屋指定有形文化財となっている。

その一つ、聴松閣の地下にある旧舞踏場で、昨年二月に夜話をさせていただいた。音楽にあわせて花を活躍のフラワーライブに、西洋琵琶と京がたりのコラボレーションで織りなす、一夜限りの夢物語。「花降る夜の春待ち夜話」という公演名のとおり、花の香りと花の調べにつつまれるひと時を、観客の皆さまにお楽しみいただいた。

そして今年の五月十七日、新たな夢物語の幕が上がる。題して「薔薇咲く庭の薫風夜話」。昨年に引き続き、花々がふんだんに現れる物語を書き下ろし、ふさわしい楽曲をこしらえる。今回はどんな夢物語をお届けできるだろうか。

本誌面の読者さまにもお裾分けを。下段のQRコードから、昨年の舞台風景をぜひご覧いただきたい。花の色と花の調べのひと時、花の香りも画面からただようことを願いつつ。

ひいさま(松根裕美)

京都生まれ、京都育ち。
学生時代は日英を問わず朗読や作文に多く携わる。高校時代、裏千家主催学校茶道体験論文コンテストにて優秀賞受賞、第18回裏千家ハワイセミナーに招待。京都私学ESS連盟主催英語暗唱大会優勝、英語弁論大会優勝。大学時代、世界遺産「下鴨神社」で十二単王朝舞を学び、名月管絃祭で舞を奉納。現在は京がたりの舞台活動に加え、一般社団法人さものカラーコーディネーター協会認定講師として、さもの・色・ことばに関わる各種レッスンやコンサルティングを、名古屋を中心に各地で展開。さものカラーワークやセルフ和髪レッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。
Instagram→@hiromimatsune



ひいさま※藤間勘萃 幻燈館

文中で紹介した動画をYouTubeでご覧いただけます。
QRコードを読み取っていただくか、「藤間春待ち」で検索して下さい。

藤間勘萃

1958年に名古屋で生まれ、1977年にデビュー。
日本舞踊家(宗家 藤間流 名執)/楽師としてNHK「日曜美術館」や「花の舞・花の宴」、養老孟司(東京大学名誉教授)との「以心伝心・以身伝心」、久田舜一郎(小鼓方 大倉流15代宗家)との「秋天の興」など放送や舞台上に数多く携わる。作/編曲家として「世界デザイン博覧会」テーマ館音楽、名古屋市芸術祭主催公演テーマ曲、関西二期会オペラ、合唱曲「弥陀観音大勢至」(深井丸 興西寺所蔵)、「おとほぎ」(あいちオカリナ フェスタ テーマ曲)、音楽版「浄土真宗 正信偈草四句目下」(光壽山 阿彌陀寺所蔵)などを手掛ける。名古屋音楽大学音楽学部 作曲学科卒業。日本福祉大学 社会福祉学部を経て、現在、東海学園大学 教育学部にて講師。



ひいさま※藤間勘萃の
ホームページはこちら



火山噴火で埋もれていた世界遺産のポンペイ

旅で磨こう「文化力」⑪

紀元後79年、イタリア、ナポリのヴェスヴィオ山噴火により、厚い火山灰の下に埋もれた都市ポンペイは、約1万人が暮らした都市の賑わいをそのまま封じ込めたタイムカプセルともいえる遺跡だ。そのポンペイを訪れたのは、20年以上前の2004年4月だった。遺跡の街を歩き、古代ローマ人の豊かで快適な暮らしを求めていた痕跡に驚愕し、一方で自然災害のすさまじさに戦慄を覚えた。ポンペイは2000年の時を経て掘り出された「人類の宝もの」であり、ポンペイと周辺地域の遺跡は1997年、ユネスコの世界遺産に登録されている。

石畳や柱列：タイムカプセルの世界

まずポンペイの史実をひも解いておこう。79年8月24日午後1時に、3000年の眠りから目覚めたヴェスヴィオ火山が大音響とともに噴火した。ポンペイ市民の頭上に、火山灰や焼けた小石が降り注いだ。さらに火砕流や火山灰に混じった高熱の有毒ガスは、逃げ惑う人々に襲い掛かり、2000人以上の命を奪った。その後3日間にわたって、6メートル以上もの火山灰が降り積り、ポンペイの街は、灰の下に埋もれてしまったのだ。

以上のような記録は文献や碑文にはつきり銘記されているにもかかわらず、次第に人々の記憶から忘れ去られた。ところが18世紀に入って、ここに別荘が建てられるようになり、井戸を掘って、古代の彫像や円柱などを発見する。1748年になると、ナポリのカルロ王(後のスペイン王カルロス三世)が発掘物を王宮に運ばせ、注目を集める。以来、発掘は2000年以上経った今日まで様々な形で引き継がれている。近年は考古学だけでなく、火山学や人類学の視点もまじえ総合的な調査が行われ、古代の史実に科学的な分析が進んでいる。

ポンペイのことは、日本におけるイタリア年が開かれた2001年に開催された「世界遺産ポンペイ 古代ローマの輝き」を見て、現地を旅したいとの思いを募らせていた。高度な文明を持った都市が、邪馬台国の卑弥呼が登場する前の倭の時代に、こつ然と消滅したのだ。帰国前日、ローマのホテルを早朝5時過ぎに出発した。ナポリから南へ20キロ走るとやがて車窓の右側にティレニア海、左方に問題の火山が見えてきた。風光明媚なリゾート地として、ローマの貴族たちが別荘を求めたのもうなずける。

青く輝くナポリ湾に臨み、背後に火山がそびえる大地に、古代ローマ時代の都市遺跡ポンペイが広がっていた。豊かな自然と肥沃な土地に恵まれたこの地が、紀元直後の大噴火で、瞬にして埋没してしまっただけで、その後1700年近くも歴史に埋もれていた。



ポンペイ遺跡の中央広場からユピテル神殿跡と背後のヴェスヴィオ山を望む(2004年4月)

今もヨーロッパの街を訪ねると、必ずと言っていいほど、広場を取り囲むように市庁舎や教会が建っている。その原型は早くもポンペイに出来あがっていたのだ。

甦った2000年前の古代都市を歩く

だ。広場には時計塔が付き物だが、ここにもあった。西側にアポロ神殿があり、中央祭壇脇に白大理石の円柱の上で日時計が今も時を刻んでいる。アポロのブロンズ像も建っていたが、これはレプリカで、本物はナポリの博物館にあるという。

公共浴場や居酒屋、市民生活々々しく当時の街の区画がそのまま掘り出されており、過去にタイムスリップした錯覚に陥る。マリナ門からサルノ門まで約1キロ、広場を突き抜けてほぼ真直ぐに道が貫いている。それが当時の目抜き通りのアポナンツァ通りである。



掘り出されたかつてのポンペイの街並み

大きめの平石を敷き詰めた通りには、石と石の隙間に猫目石と呼ばれる白い石が埋め込まれている。それが夜目に光って車道であることを示していたという。車道の両側には歩道も整備され、一階は店舗、二階は住居という商店街が続いている。店の壁には所々に四角な穴が残っているが、ガイドによると当時そこに松明をかざし、夜の街を照らしていたそうだ。

アポナンツァ通りを南に折れ、だらだら坂を下っていくと小さな広場が現れる。大きな木が作る陰の中に高い壁があった。入り口を抜けたところには馬蹄形をしたギリシャ様式の大劇場だ。紀元前3世紀から2世紀のもので5000人の観客が収容できるといふ。

ポンペイは他の遺跡と異なり、市民の生々しい生活の場が見て取れるのが特徴だ。大劇場から東に進んだ辺りで一軒のかつて別荘であった住宅に入った。そこには随所に壁画があったそう。今は博物館に保存されている。奥の部屋には朱色で壁一面に動物の姿が描かれていた。アポナンツァ通りとスタビア通りが交差する位置に公共浴場跡が残る。三方を柱廊が囲み、芝生の運動場である豪

勢なもので。個人の家には浴室がなかったことから、貧富にかかわらず浴場に通ったようだ。おそらく社交場として、団欒や商売の話がなされたのである。

衝撃的な被災した人間の石膏像多数
ポンペイの遺跡でもっとも衝撃的だったのは、被災した人間の石膏の姿だ。火山灰に埋まった犠牲者の遺体が朽ちると、骨だけ残るが遺骸の中が空洞になっていた。そこへ石膏を流し込むと、当時の遺体の様子が石膏型となって再現される。この方法は1860年代に発掘を指揮していた者が取り入れた。

火山灰から逃げるのをあきらめ横たわっていたり前かがみになった被災者の姿が当時の惨劇をリアルに伝える。ある建物の中では、避難していた50数人が折り重なって見つかった。妊婦の石膏像もあり、いたたまれない気持ちになった。これはポンペイの人たちの人生の最後にして最も悲劇的な瞬間の姿がそっくりそのまま刻印されることを意味していた。運命の日も変わらぬ日常があり、突如襲ってきた惨劇に自分ならどうするだろうか。暗澹たる思いがした。

約2時間かけて、かつての街の遺構が残る「過去の世界」を歩いた。その保存状態の良さに感嘆するばかりだ。さらに2000年も前に水道や舗装道路などの公共施設を設け、建物を整備し、都市を形成、豊かな社会を求めた古代人の知恵に驚かされ通した。その建物跡から一日の労働の疲れを浴場でいやし、劇場で芝居を楽しみ、絵画などの芸術を好み、市場で買い物をした市民生活の様子を十分知ることが出来る。



噴火で犠牲となった市民らの石膏像

日本も阪神淡路大震災や東日本大震災など自然災害の怖さを経験した。文明の便利さがより被害を過大にする。この旅を通じて、家族との絆や地域社会との共生、文化的な豊かさとは……などを顧みるきっかけを与えてもらった。



〈白鳥 正夫プロフィール〉

1944年8月14日愛媛県新居浜市生まれ。中央大学法学部卒業。朝日新聞社定年退職後は文化ジャーナリスト。著書に『絆で紡いだ人間模様』『シルクロードの現代日本人列伝』『新藤兼人 未完映画の精神』『幻の創作ノート』『太陽はのぼるか』『アート鑑賞の玉手箱』『夢をつむぐ人々』など多数

この指とまれ

(350)

氏原朝信

昭和56年度常滑西小学校一年一組「なかよし」

せんせい あね(5) かぞく②ー はるこ

先生 あね あさねぼうしたんだよ

六じ三十ふんにおきちやつたんだ七じ五ふんにしんぶんくぼり

おわたけど学校はおくれなかったよ

※えらい、朝寝坊をしないために早く起きて新聞配りしているんだね。じょうぶな体になるから、がんばってね。

まゆ

わたしのいもうとは

とてもいじわる

「おかしをはんぶんちようだい」といっても

一口しかくれない

※一口でもくれた妹はえらい。でも我慢したお姉ちゃんばもつとえらい。

先生 あね いちばん上のにいちやんがおねしよしたの

おかあさんがぼくたちがねていたふとんがぬれているけど

ぜんぜんかんじないふとんをいっしょうけんめいさがして

おかあさんが「ほか」といいました

※そりゃあ、びつくりで大ききだったね。でもね、みんな、寝小便して大きくなったんだよ。

まき

うちのベランダで

おかしをたべると

マルも犬ごやから出て

ワンワンとほえて

おかしをたべたがるんだよ



※マルも仲間に入れてもらっていっしょに食べたいんだよ。

なおのり

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! 甘夏みかんジャム(甘さ控えめ)

知多半島は柑橘類が美味しくお値打ちです。甘夏は皮が肉厚で皮ごと味わえる繊維質豊富な手作りジャムになります。

- 材料
- ④甘夏みかん.....1kg (約直径9cm3個)
 - ⑥砂糖.....500g



作り方

- ④をたわしなどできれいに洗い、皮の上下をカットし(へたは捨てる)、周囲の皮に6〜8本切り込みを入れ皮をむき、皮は1センチくらいのざく切りにする。
- ①の皮を鍋に入れ、皮の半分の量つかるくらいの湯を入れ、蓋をして柔らかくなるまで煮る(途中湯を足し、焦げないように注意する)。
- ②を火傷に気を付けて、ざるあげし、2〜3回水にさらし(苦みが軽減される)水気を絞る。
- ①の実を、ざく切りにし鍋に入れ、ひたひたの湯で煮る。途中泡が出てくるのですくい取り、水分が半量になるぐらいまで煮詰める。押しつぶしながら煮ていくと皮と実が分かれてくる。
- ④をざる上げし、果汁とその残りに分け、種は捨て、薄皮は残す。
- フードプロセッサーで③と薄皮などの残りをペーストにする。⑤の果汁を調整で加えてもいい。
- 鍋に⑥を入れ⑥の半分を加え混ぜ、火をつけて煮詰める。火を止めさらに残りの⑥を加え混ぜ、再度火をつけてとろみをつける。とろみ加減は小皿にとり、冷まして固さをみると良い。



知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ塚380 TEL0569-73-6341

常滑の町で 自然と共に眠る 東龍寺 墓地 大阪屋樹木葬常滑北

誠意を込めて安心のお手伝い 大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール リビング常滑 リビング常滑北 TEL0569-35-4949 年中 24時間 休無休 大阪屋葬祭 | 検索



先生 あね いちばん上のにいちやんがおねしよしたの

おかあさんがぼくたちがねていたふとんがぬれているけど

ぜんぜんかんじないふとんをいっしょうけんめいさがして

おかあさんが「ほか」といいました

※そりゃあ、びつくりで大ききだったね。でもね、みんな、寝小便して大きくなったんだよ。

まき

うちのベランダで

おかしをたべると

マルも犬ごやから出て

ワンワンとほえて

おかしをたべたがるんだよ

まき

わたしのいもうとは

とてもいじわる

「おかしをはんぶんちようだい」といっても

一口しかくれない

まき

わたしのいもうとは

とてもいじわる

「おかしをはんぶんちようだい」といっても

一口しかくれない

まき

わたしのいもうとは

とてもいじわる

「おかしをはんぶんちようだい」といっても

一口しかくれない

まき

わたしのいもうとは

とてもいじわる

◎常滑市民文化会館
ホール 第67回常滑市美術展 表彰式・十八日(日) 開場 午後二時 開会 同一時(午後二時) 関係者のみ 問合せ 常滑市教育委員会生涯学習スポーツ課 ☎44-4600
◎文化協会本部事業 邦楽のつどい・二十五日(日) 開場 正午 開演 午後〇時半(同四時) 入場無料 問合せ 常滑市文化協会事務局 ☎35-2920
展示室 あなたのギャラリー ▼第68回常滑市美術展 十六日(金)〜十八日(日) 午前

◎とこなめ陶の森資料館 ▼第1回企画展「知多と三河の塩つくり」・八月三日(日)

